

# Kilimanjaro

## アフリカ大陸最高峰 キリマンジャロ 登頂



**AGのキリマンジャロツアーは、少人数制のツアーです。**

大人数のグループでは、それぞれのペースが違うなどして、行動時間が長くなるとともに、食事、休憩などにも時間が掛かり、スムーズに登山ができない場合もあります。AGの少人数制ツアーで、是非、ゆったりとキリマンジャロ登山をお楽しみ下さい。



# アフリカ大陸最高峰 / タンザニア

## キリマンジャロ(5,895m) 登頂 10日間

技術度3 体力度5

AGのキリマンジャロツアーは、最大6名様までの少人数制ツアーなので、ゆったり登れます。(最少催行人員 4名)

ケニア・タンザニアの国境付近に位置する、アフリカ大陸最高峰キリマンジャロ。雄大な裾野を広げる単独峰の火山で、山麓のモシの町から雄大な姿が望めます。この山はシーラ、キボ、マウエンジーの3つの峰からなり、キボ峰のウフルピークが最高所となります。一般ルートはマラングルートで、3つの山小屋を使い4泊5日、または5泊6日で登ります。このルートは森林地帯からスタートして、灌木帯、砂礫帯(砂漠のような所)を時間をかけてゆっくり登ると山頂の氷河地帯へ。熱帯から亜寒帯へ旅をするような、変化に富んだ景色が楽しめます。アフリカの広大な大地を肌で感じ取る登山です。



### 2026年4月～2027年3月のスケジュール

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 7月10日(金) ¥725,000.  | 12月18日(金) ¥697,000. |
| 7月31日(金) ¥795,000.  | 1月08日(金) ¥697,000.  |
| 8月21日(金) ¥767,000.  | 2月05日(金) ¥697,000.  |
| 9月18日(金) ¥795,000.  | 3月12日(金) ¥689,000.  |
| 10月09日(金) ¥697,000. | * 燃油サーチャージの目安       |
| 11月20日(金) ¥697,000. | ¥55,000 (2026年1月現在) |

- 出発地 : 東京発
- ツアーリーダー : 東京より同行
- 最少催行人員 : 4人
- 食事 : 朝-7 昼-7 タ-7
- 一人部屋追加料金 : ¥30,000.
- 利用予定航空会社  
エチオピア航空、カタール航空、エミレーツ航空  
大韓航空、ケニア航空
- 利用予定ホテル  
モシ: パークビューイン、パナマガーデン

### 登山シーズン

3月下旬～6月上旬は大雨季にあたるので登山には不向き。  
10月中旬～12月上旬は小雨季ですが、登山は可能です。  
適期は、現地の冬にあたる7月～9月、夏にあたる12月中旬～3月中旬の間。7～8月は大乾季で天候は安定しますが、気温が低くなるので、しっかりとした寒さ対策が必要です。

| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| ○  | ○  | △  | ×  | ×  | △  | ○  | ○  | ○  | △   | △   | ○   |

### ルートと概要

マランゲートからは温帯雨林のジャングルに整備されたルートを登り、森の中にあるマンダラハットへ。ここからは、森林が終わり灌木帯になり、緩やかな斜面をホロンボハットまで登ります。引き続き、緩やかな斜面を登ると植物がなくなり砂礫帯へ。サドルを越えキボハットに入ります。

ここからはルートが一変して急なザレ場の斜面をジグザグで登ります。砂走りを越え、簡単な岩場が出てきたら火口縁のギルマンズポイント到着。ルートは再び緩やかになり、アップダウンで岩を巻きながら登ると、氷河を目に見るウフルピークへの最後の緩やかな登りとなります。



### 登山レベル

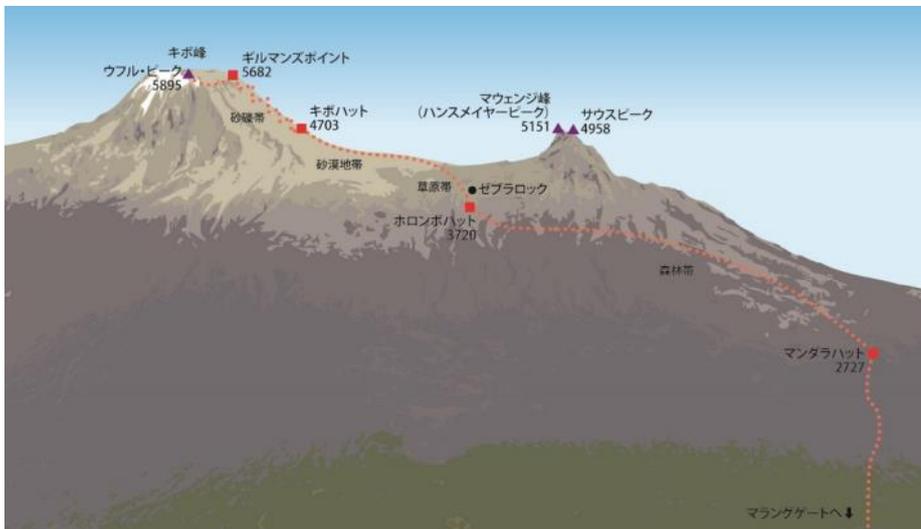
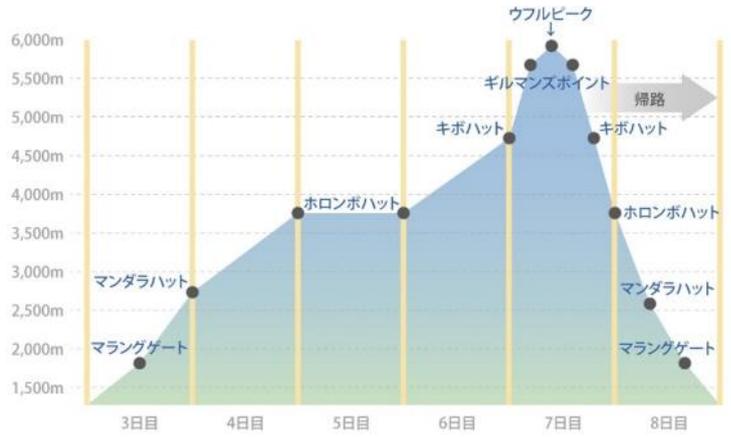
登山技術としては、難しい箇所はなくハイキングの延長で登ることができます。まれに上部に少し雪があることがあるので雪渓の通過や軽アイゼンの経験があるとよいでしょう。  
体力的には、高所で標高差約1000mを登るので、しっかりとした基礎体力が必要です。山小屋利用なのでテント設営、食事準備等は必要ありません。

### キャンプ地(山小屋) 標高

|           |                        |
|-----------|------------------------|
| マランゲート    | : 1,820m               |
| マンダラハット   | : 2,727m (標高差 約 900m)  |
| ホロンボハット   | : 3,720m (標高差 約 1000m) |
| キボハット     | : 4,703m (標高差 約 1000m) |
| ギルマンズポイント | : 5,681m (標高差 約 900m)  |
| ウフルピーク    | : 5,895m (標高差 約 250m)  |



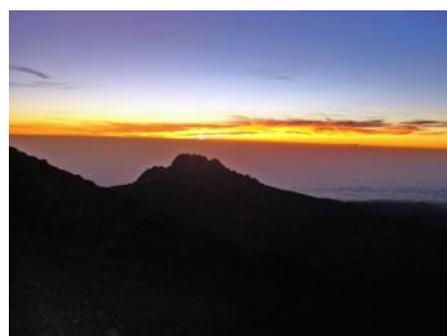
| NO | 都市名  | 時間            | 交通機関              | 摘 要  | 食事             |
|----|--|---------------|-------------------|--|----------------|
| 1  | 東京   | 夜             | 航空機               | 空路、アジアまたはアフリカの都市を経由してキリマンジャロ空港へ向います。【機中泊】  | 機食             |
| 2  | アジア・アフリカ都市<br>キリマンジャロ空港<br>モシ                    | 午前<br>午後      | 航空機<br>送迎車        | 経由地で航空機を乗り継ぎキリマンジャロ空港へ向かいます。到着後、キリマンジャロの登山基地となるモシへ。【モシ泊】   | 機食<br>夕食       |
| 3  | モシ<br>マランゲート<br>マンダラハット                          | 午前<br>午後      | 送迎車<br>トレッキング     | 送迎車でゲートへ。入山手続き終了後、登山を開始し、約4時間で樹林帯の中に建てられたマンダラハットへ着きます。【山小屋/2700m】  | 朝食<br>昼食<br>夕食 |
| 4  | マンダラハット<br>ホロンボハット                               | 午前<br>午後      | トレッキング            | 樹林帯の登りを30分程で草原へ。キリマンジャロがそびえます。灌木帯をゆっくり5時間程で到着です。【山小屋/3720m】  | 朝食<br>昼食<br>夕食 |
| 5  | ホロンボハット  | 滞在            | トレッキング            | ホロンボハットに滞在します。周辺を歩き、高度順応を計ります。【山小屋/3720m】  | 朝食<br>昼食<br>夕食 |
| 6  | ホロンボハット<br>キボハット                                 | 午前<br>午後      | トレッキング            | 灌木帯を約2時間で最後の水場へ。水を補給した後はサドルと呼ばれる砂漠帯を4時間程で石作りのキボハット着。【山小屋/4703m】  | 朝食<br>昼食<br>夕食 |
| 7  | キボハット<br>ギルマンズポイント<br>ウフルピーク<br>キボハット<br>ホロンボハット | 深夜<br>トレッキング  |                   | 夜中の12時頃に出発し、ジグザクの道を登り、ギルマンズポイントへ。ギルマンズポイント付近でご来光が上がります。体調の良い方はウフルピークへ登ります。その後、キボハットを経由してホロンボハットへ。【山小屋/3720m】 | 朝食<br>昼食<br>夕食 |
| 8  | ホロンボハット<br>マランゲート<br>モシ                          | 午前<br>昼<br>午後 | トレッキング<br>送迎車     | 往路と同じ道をマランゲートまで下山。ゲートよりモシのホテルへ向かいます。【モシ泊】  | 朝食<br>昼食<br>夕食 |
| 9  | モシ<br>キリマンジャロ空港<br>アジア・アフリカ都市                    | 午後<br>夕刻<br>夜 | 送迎車<br>航空機<br>航空機 | 午前中はゆっくりとお過ごし頂きます。午後には空港へ向かいます。航空機を乗り継ぎ帰国の途につきます。【機中泊】   | 朝食<br>昼食<br>機食 |
| 10 | 東京   | 夜             |                   | 夜に東京に到着となります。  | 機食             |



キリマンジャロ山頂(ウフルピーク)



サドルエリアを望む



山頂での朝日



頂上直下の氷河

## キリマンジャロ 参考装備表

### 【靴・足元】

| NO | 品名                | 数量 | チェック | 備考   |
|----|-------------------|----|------|--|
| 1  | 登山靴<br>トレッキングシューズ | 1足 | ○    | 保温性、防水性に優れた登山靴やトレッキングシューズ。<br>※高所では足もむくむため、そのことも考慮に入れてサイズを選ぶこと。<br>例) スポルティバ: TRANGO ALP EVO GTX®、AEQUILIBRIUM ST GTX®、AEQUILIBRIUM LT GTX® スカルパ: リベレHD、ゾディアックトレックLT GTX、メスカリートレックGTX など |
| 2  | 運動靴又は普段履き         | 1足 | ○    | 出発時、機内、都市滞在中に使用。(トレッキングシューズで併用可)   |
| 3  | サンダル              | 1足 | △    | 山小屋滞在時にあるとより快適です。<br>※ビーチサンダルではなく、つま先の隠れる作りもの。<br>例) クロックス キーン など  |
| 4  | ゲイター              | 1組 | ○    | スパッツ。砂除け、泥除けとして。<br>例) モンベル: GORE-TEX ライトスパッツ、GORE-TEX イージーフィット ロングスパッツ など   |

### 【ウェア・衣類】

| NO | 品名                          | 数量 | チェック | 備考   |
|----|-----------------------------|----|------|--|
| 1  | 下着                          | 適数 | ○    | 2~3セット。素材は合成繊維などで、吸水速乾性に優れているもの。綿製品は不可。<br>例) パタゴニア アイスブレイカー ワコール ファイントラック など  |
| 2  | 薄手靴下                        | 適数 | ○    | 主に麓からキボハットまでのトレッキング時に使用する、ウール、ポリエステル繊維、合成繊維などの登山用靴下。   |
| 3  | 厚手靴下                        | 2組 | ○    | 登山用の厚手のウールや合成繊維のパイル織の靴下。古くなるとクッション性が失われるため、定期的に新しいものを購入することも重要です。念の為、予備とあわせ合計2組。   |
| 4  | 薄手のベースレイヤー<br>(上下)          | 適数 | ○    | 上下2セット。素材はキャブリーンや合成繊維、またはウール。綿製品は不可。<br>例) パタゴニア: キャブリーン ライトウェイト ミレー: ドライナミックメッシュ ファイントラック: L1ドライレイヤー など   |
| 5  | 厚手のベースレイヤー<br>(上下)          | 適数 | ○    | 上下1セット。素材はキャブリーンや合成繊維、またはウール。綿製品は不可。<br>寒いときに薄手のベースレイヤーの上に重ねて切れるもの。<br>首元はクルーネックではなく、温度調節ができるハーフジッパーがおすすめです。<br>例) パタゴニア: キャブリーン ミッドウェイト、サーマルウェイト ファイントラック: L2ベースレイヤー など     |
| 6  | ミッドレイヤー<br>(上下)             | 適数 | ○    | ウール、ポリエステルなどの中間着。フード付きのものはバラクラバの代わりに也成了り便利。<br>中厚程度のフリースジャケット。<br>例) パタゴニア: R2 ファイントラック: L3ミッドレイヤー など  |
| 7  | インサレーションレイヤー<br>(上下)        | 1組 | ○    | 中間着として使用できるインナーダウンジャケット。ウインドストッパーなどのソフトシェルパンツ。<br>例) パタゴニア: ナノパフ、ナノエア、ウインドシールド など  |
| 8  | ハードシェル(上下)                  | 1組 | ○    | オールシーズン用のジャケットとパンツ。"GORE-TEX®"に代表される防水透湿素材を使用した3レイヤーのものが望ましい。雨具兼用。パンツはフルサイドジッパーのものが便利です。   |
| 9  | アウターダウンジャケット<br>&<br>ダウンパンツ | 1組 | ○    | アタック時に着用する厚手のダウンジャケット。シェルの上から着用できる大きさのものが望ましい。パンツはフルサイドジッパーが望ましい。インナーパンツタイプでも可。<br>例) モンベル: イグニスダウン パーカ、パーマフrost ライトダウンパーカ、TECダウンパンツ<br>パタゴニア: フィッツロイ・ダウン・パーカ、マクロ・パフ・フーディ、など |
| 10 | レインポンチョ                     | 1個 | △    | 100円均一ショップなどで販売されているもので良いので、バックパックまで覆うことのできるレインポンチョをお持ち頂くと、激しい雨の時などバックパックが濡れず便利です。   |
| 11 | 薄手のグローブ                     | 適数 | ○    | キボハットまでのトレッキング時に使用する薄手のグローブなど、素材、厚さを変えて複数あるとより便利です。  |
| 12 | 雪山用防寒グローブ                   | 1組 | ○    | 防水性、保温性に優れた5本指、3本指の雪山用防寒グローブやスキーグローブなど。  |

## 【 頭・目元など 】

| NO | 品名        | 数量 | チェック | 備考  |
|----|-----------|----|------|---|
| 1  | サングラス     | 2個 | ○    | 破損や紛失に備え、予備を含め合計2つお持ち頂くとより安心です。<br>顔の大きさにあった横風、横からの紫外線にも強いもの。 |
| 2  | ヘッドランプ    | 1個 | ○    | LEDヘッドライトで、200ルーメン以上のものが望ましいです。<br>※予備の電池も必要。                 |
| 3  | 日除け用ハット   | 1個 | ○    | 日除け用のつばの付いたハットやキャップ。  |
| 4  | ニットキャップ   | 1個 | ○    | 主にアタック時に使用する、低温環境用の耳まで覆うニット帽など。高所帽も可能。                        |
| 5  | Buff、バンダナ | 適数 | ○    | 日焼け予防にHigh UV Protection効果を備えたものもおすすめです。                      |

## 【 登山用具、キャンプ用具、その他 】

| NO | 品名                       | 数量 | チェック | 備考   |
|----|--------------------------|----|------|--|
| 1  | 大型バッグ<br>(80L程度)         | 1個 | ○    | 80L以上の遠征用の大型ダッフルバック、キャスターバック、スーツケースなど。<br>登山時は麓の現地手配会社のオフィスに預けることが可能です。  |
| 2  | 中型バッグ<br>(40～60L程度)      | 1個 | ○    | トレッキング中はポーターに預ける、替え衣類、防寒着、スリーピングバッグなどの個人装備が全て入るサイズのもの。<br>※毎日荷物の出し入れを行うため、ダッフルバッグなどの開口部が大きな作りのものだと、ストレスなく使用できるためおすすめです。  |
| 3  | 中型バックパック<br>(30～40L程度)   | 1個 | ○    | 雨具、防寒着、水、昼食、行動食など、トレッキング中に必要になる個人装備が全て入るサイズのもの。  |
| 4  | スリーピングバッグ                | 1個 | ○    | シュラフ。0℃ぐらいまでは耐えられるスリーシーズン用またはオールシーズン用スリーピングバッグ。コンプレッションバッグがあるとコンパクトになります。<br>例)モンベル: アルパイン ダウンハガー-650 #3-2、ダウンハガー-650 #3-2 など  |
| 5  | スリーピングバッグカバー             | 1個 | △    | "GORE-TEX®"に代表される防水透湿素材のもの。大きさに余裕のあるもの。<br>スリーピングバッグの対応温度によってはご用意頂いたほうが安心です。   |
| 6  | スリーピングパッド<br>(ウレタンマットレス) | 1個 | ×    | ※各山小屋共通して、各ベッドごとにマットが敷かれているため不要です。   |
| 7  | トレッキングポール                | 1組 | ○    | 登山用ストック。3段折りたたみ式、または、伸縮式のもの。<br>※念の為、スノーバケットもお持ちであれば、現地までご持参下さい。<br>例)LEKI:マイクロバリオカーボン AS、マカルーライト など   |
| 8  | ウォーターボトル                 | 適数 | ○    | 水筒。合計して3L以上の容量が必要。<br>入山時に国立公園入口にて3L分のミネラルウォーターが支給されますが、国立公園内へのペットボトルの持ち込みが禁止されているため、その場でご自身でお持ちのプラティパス、ナルゲン等の容器に移して頂きます。<br>ハイドレーションや容量500mlのナルゲンボトルを複数個持つなどすると、トレッキング中にすぐに水分補給が出来るためおすすめです。  |
| 9  | サーモス(テルモス)               | 1個 | ○    | 夜間や行動中に温かいものが飲めるため、容量500ml以上のものがおすすめです。  |
| 10 | 行動食&ドリンク                 | 適量 | ○    | 日本で食べ慣れたもの、飲み慣れたものをお持ち頂くと良いでしょう。<br>エナジージェル、エナジーバー、柿の種、ナッツ類などの高カロリー行動食やスポーツドリンク、ホットレモン、緑茶、コーヒー、ココア、紅茶、味噌汁などの粉末の他、飴やキャラメルなど。しょっぱいものなどもあると飽きがこずおすすめです。<br>★ジェルなどのゼリー状のものが高所でも摂取し易く、アタック時におすすめです。 |
| 11 | 日焼け止め                    | 適量 | ○    | SPF50またはそれ以上のものがおすすめです。<br>※日焼け止めは、6ヶ月以上経過するとSPF値が半減する場合もあるのでご注意ください。  |
| 12 | リップクリーム                  | 適量 | ○    | SPF20/PA++以上のものがおすすめです。  |
| 13 | マスク                      | 適数 | ○    | 登山ルート中、ひどい砂埃となる箇所があるため、防塵用にお持ち頂くと便利です。<br>※Buffでの代用も可能ですが、マスクのほうがおすすめです。   |

## 【登山用具、キャンプ用具、その他】

|    |                           |    |   |   |
|----|---------------------------|----|---|---|
| 14 | 折りたたみ傘                    | 1個 | △ | 雨が降ることも多いため、ご持参頂くと便利です。<br>※落雷の心配がなければ、トレッキング時にも使用可能なため、ある程度の風にも耐える強度のものをおすすめです。                      |
| 15 | 医薬品                       | 適量 | ○ | 普段使い慣れた、頭痛薬、胃腸薬、整腸剤、風邪薬など。<br>★常用薬がある場合は、念の為、1週間分ほど余分にお持ち下さい。   |
| 16 | カイロ                       | 適数 | △ | 登頂時の冷え込み対策に。<br>つま先、手袋の中に入る小型の寒冷地用タイプのもを各2組ずつほど。  |
| 17 | 耳栓                        | 1組 | △ | より快適な睡眠のために。  |
| 18 | トイレトペーパー                  | 適量 | △ | 日本で使い慣れたものを適量お持ち頂くとより快適です。<br>普段ウォッシュレットを使用されている方は、「花王 サニーナスプレー」などもあわせてお持ち頂くことをおすすめいたします。             |
| 19 | ポケットティッシュ                 | 適数 | △ | トイレトペーパーでの代用も可能ですが、2、3個はお持ち頂くと良いでしょう。   |
| 20 | ウェットティッシュ                 | 適量 | △ | アルコール除菌タイプのもの、ノンアルコールタイプのもの両方があると便利です。  |
| 21 | 洗面用具                      | 適数 | ○ | 基本的なもの。歯ブラシ、歯磨き粉、タオルなど。   |
| 22 | ジップロック                    | 適数 | △ | ご自身が出したゴミなどを快適にまとめるためにもあると便利です。   |
| 23 | モバイルバッテリー                 | 1個 | △ | 携帯端末、デジタルカメラなどのリチウムイオンバッテリーは、低温下でのバッテリー消耗がとて激しいため、モバイルバッテリーなどもお持ち頂くと便利です。                             |
| 24 | コンセント変換プラグ<br>&<br>充電ケーブル | 1個 | ○ | タンザニアの電源プラグ(コンセントの口の形)は日本とは異なり「BFタイプ」が主流となるため、変換プラグをご持参下さい。<br>基本的には山小屋でも電源の使用が可能です(現地事情で使用不可の場合もあり)。 |
| 25 | キンドルや文庫本                  | 適数 | △ | 山小屋滞在時の時間つぶし用に。   |
| 26 | 筆記用具                      | 適数 | ○ | 鉛筆、メモ帳など。(ボールペンは高所ではインクの出が悪くなる場合がございます)   |
| 27 | 旅行用衣類                     | 適数 | ○ | 登山の前後に街で着る衣類。   |

○：必要装備品

△：推奨装備品(あると便利です)

×：不要

★ 荷物の紛失などを避けるため、原則、持参される全ての個人装備品に、ローマ字綴りで名前を明記して下さい。

※ 上記参考装備表はあくまでも、通常想定し得る悪天候、悪条件までを想定した参考装備表であり、絶対的なものではありません。上記参考装備表のリストを参考に、更に厳しい条件にも対応できるよう、各自で工夫し、ご自身に合った装備をご準備下さい。

## 【想定気温】

| エリア       | 標高            | 想定気温        | 想定体感気温        |
|-----------|---------------|-------------|---------------|
| モシ        | (標高 850m) :   | +17℃ ~ +35℃ | → +16℃ ~ +35℃ |
| マラングゲート   | (標高 1,860m) : | +14℃ ~ +19℃ | → +12℃ ~ +19℃ |
| マンダラハット   | (標高 2,700m) : | +9℃ ~ +13℃  | → +7℃ ~ +13℃  |
| ホロンボハット   | (標高 3,720m) : | +4℃ ~ +8℃   | → +1℃ ~ +6℃   |
| キボハット     | (標高 4,703m) : | -2℃ ~ +2℃   | → -7℃ ~ 0℃    |
| キリマンジャロ山頂 | (標高 5,895m) : | -10℃ ~ -5℃  | → -17℃ ~ -8℃  |

※ あくまでも参考気温としてご参照下さい。

想定体感気温は風も考慮に入れた体感気温です。強風時には更に体感気温が下がる場合がございます。

## ■ お問い合わせから出発まで

### 1. 資料請求・ツアー内容の確認

パンフレットの内容をご確認下さい。パンフレットはホームページをご覧頂くか、メール等でご請求下さい。ツアー内容、体力、技術度装備、事前準備などご質問等がございましたら、お気軽にご相談下さい。

### 2. 申込手続

電話、メール等でお申込下さい。手続書類をお送りします。申込書等の必要書類の返送、申込金のお振込みをお願い致します。

### 3. 渡航手続

パスポートの有効期限の確認、ビザの取得など。ビザは弊社で取得の代行もしております。

### 4. 旅行代金のお支払い

旅行代金、燃油付加運賃などの諸費用、海外旅行傷害保険料、ビザ取得手数料などを合算した金額から、お申込金を差し引いたご請求書をお、出発の1ヶ月前頃に送り致します。期限までにお振込み下さい。

### 5. 出発準備

出発の8～10日前頃に、最終案内書(集合案内、日程表、連絡先、装備リスト、資料)をお送り致します。また、コースによっては出発説明会を実施いたします。(対象コースは手続書類の送付時にご案内します。) 体調を整えて頂くと共に、必要装備をご準備下さい。

### 6. 出発

最終案内書でご案内した時間、場所にお集合下さい。パスポートを忘れずにお持ちください。ツアー中は、ツアーリーダー、現地スタッフが、皆様に目的を達成頂けるよう、精一杯サポートさせて頂きます。

## 海外旅行傷害保険へのご加入のお勧め

海外登山ツアーは、いわゆる辺境、秘境に行くツアーも多くあります。万一山中で怪我をした場合、近くに病院がないためにヘリコプター等を使い搬送を行う場合があり、高額な費用が必要になることもあります。このような費用をカバーするために、海外旅行傷害保険へのご加入を強くお勧めしています。

## ■ お申込に際してのご案内

### 地方発着のご案内

ツアーは東京発着です。大阪、名古屋、福岡など地方発着がご希望の場合は、別途、国内線等の手配が必要になりますが、割引運賃が適用になる場合がございますので、お申し込み時にお問合せ下さい。お申出がない場合は東京発着のご参加となります。

### ビジネスクラスのご利用

多くのコースでは追加料金でビジネスクラスを利用することができます。ご希望の場合は、お申込の際にお問い合わせ下さい。また、ビジネスクラスは、お申込頂いてからの手配になりますので、お席を確保できない場合がございます。その場合は、エコノミークラスでの出発となりますので、予めご了承下さい。

### 一人部屋・相部屋について

ホテルの宿泊は2名1部屋が原則です。1名や奇数名でご参加の場合は一人部屋か男女別相部屋の利用になります。一人部屋利用の場合は別途、一人部屋追加料金が必要です。相部屋の場合は追加料金は必要ありません。また、都合で相部屋希望の場合、3人部屋になる場合がございます。この場合でも旅行代金等の返金はございませんので、予めご了承下さい。また、山小屋は男女一緒に相部屋になります。

### ビザの取得手続き

渡航先によっては、査証(ビザ)が必要な場合があります。必要な場合には、お申込手続の書類にてご案内いたします。弊社でも代行取得をしておりますので、ご希望の場合は時間に余裕をもってご依頼ください。

### 予防注射のご案内

アフリカの一部のエリア、また経路地によっては黄熱病の予防接種が必要な場合がございますが、弊社ツアーでは予防接種が不要のルートでご案内しております。今後、ルールが変更され予防接種が必要になった場合は、別途、ご案内させて頂きます。

### 健康診断書の提出

4,000m以上での宿泊を含むツアーでは、過去1年以内に受けられた、弊社指定の健康診断書の提出をお願いしております。指定フォームの内容に合わせて健康診断をお受け下さい。

## 空港税・航空保険料・燃油付加運賃について

このパンフレットに提示されている旅行代金には、航空会社より請求される、空港税、航空保険料、燃油付加運賃(燃油サーチャージ)が含まれておりません。また、各コースに明示しております燃油付加運賃は、パンフレット作成時点での目安です。これらの諸費用は、航空券を発券する際に、その時点の為替レート、燃料費用に合せ計算されたものが、航空会社より請求されます。弊社では、出発1ヶ月前を目処にお送りする、残金のご請求書で、上記諸費用をご請求させて頂きますので、予めご了承下さい。

「参加費用振込先」 口座名 株式会社アドベンチャーガイドズ 三菱UFJ銀行 神保町支店 口座番号1258952

## ご旅行条件(要旨)

\*ご契約の際は、必ず旅行条件書(全文)をお受け取り頂き、事前にご確認の上、お申し込み下さい。

■募集型企画旅行契約:この旅行は(株)アドベンチャーガイドズ(以下「当社」)が企画・実施する旅行であり、お客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件は、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終案内書と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

■旅行のお申込み及び契約成立時期:所定の申込書に所定の事項を記入し、下記の申込金を添えてお申込み下さい。電話、郵便ファクシミリその他の通信手段でお申込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをして頂きます。旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立いたします。

■旅行代金のお支払い:旅行代金は旅行開始日の前日から起算して21日目にあたる日より前にお申込みが間際の場合は当社が指定する期日までにお支払い下さい。

■旅行条件・旅行代金の基準:この旅行条件は2026年1月1日を基準としています。又、この旅行代金は2026年1月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、または、2026年1月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に際し担当者からの説明に不明な点があれば、ご遠慮なく下記に示す旅行業務取扱管理者にお尋ね下さい。  
総合旅行業務取扱管理者 近藤謙司

■取消料:旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下表の取消料を申し受けます。

| 契約解除日                |                      | 取消料       |
|----------------------|----------------------|-----------|
| 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって | 40日～31日目<br>(ピーク時のみ) | 旅行代金の10%  |
|                      | 30日～3日目              | 旅行代金の20%  |
| 旅行開始前々日～当日           |                      | 旅行代金の50%  |
| 無連絡不参加、旅行開始後の解除      |                      | 旅行代金の100% |

ピーク時とは12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで、及び7月20日から8月31日までをいいます。

お問い合わせ・お申込みは・・・



## 株式会社 アドベンチャーガイドズ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-9-6 東西館ビル 本館43号室

営業時間 平日 11:00-17:00 土日祝 休み

総合旅行業取扱管理者 近藤謙司 観光庁長官登録旅行業1713号 日本旅行業協会(JATA)正会員

TEL : 03-5215-2155

FAX : 03-3288-3211

<http://www.adventure-guides.co.jp>

e-mail [info@adventure-guides.co.jp](mailto:info@adventure-guides.co.jp)